

「学びでの絆 大切にしたい」

静岡理工科大卒業式

袋井市の静岡理工科大で十三日、二〇二〇年度卒業証書・学位記授与式があり、理工学部と情報学部の卒業生計三百七十七人と、大学院理工学研究科修士課程の修了生十一人が学びやを巣立った。

本年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、



野口博学長からパーティション越しに卒業証書を授与される卒業生代表
袋井市の静岡理工科大で

て、学部ごとに午前と午後に分かれて実施した。出席者を卒業生と来賓、学内役職者に限定。自宅などにいる保護者らのために式の様子をリモート配信した。

午後に行われた情報学部と大学院の式では、野口博学長が卒業生代表四人に卒業証書・学位記を授与。式辞で「きつと明日は今日よりも良くなると信じ、本学での学びでの絆を大切にしたい、明日から頑張っていきましょう」と呼び掛けた。

（土屋祐二）